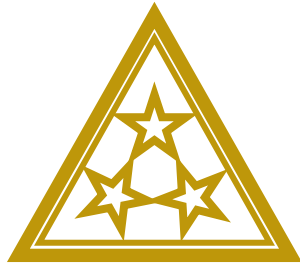




**平成22年3月期  
決算説明会**

**株式会社 中山製鋼所**  
**NAKAYAMA STEEL WORKS,LTD.**

**平成22年5月18日**

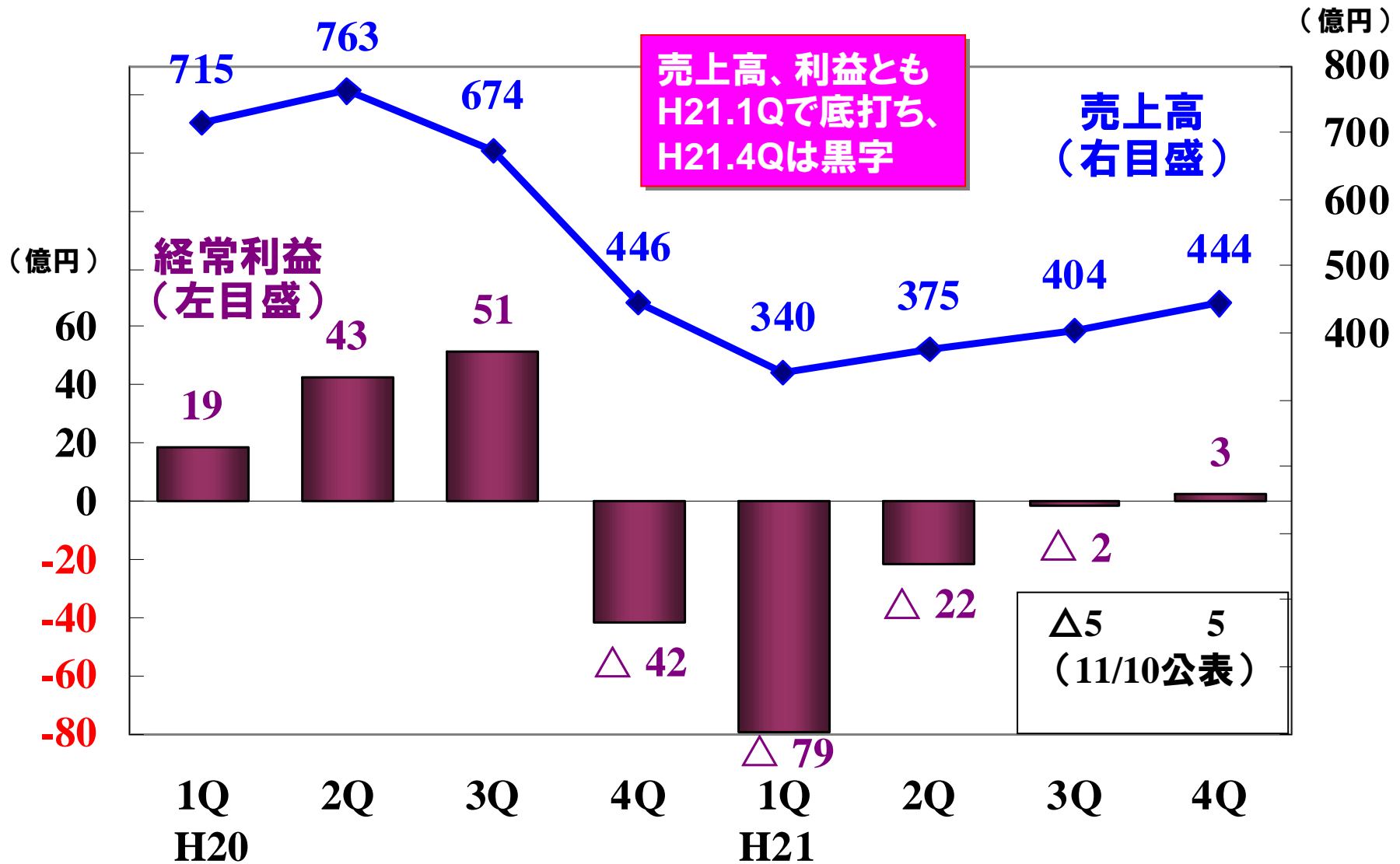


**平成21年度 経営成績について** P. 1～P. 5

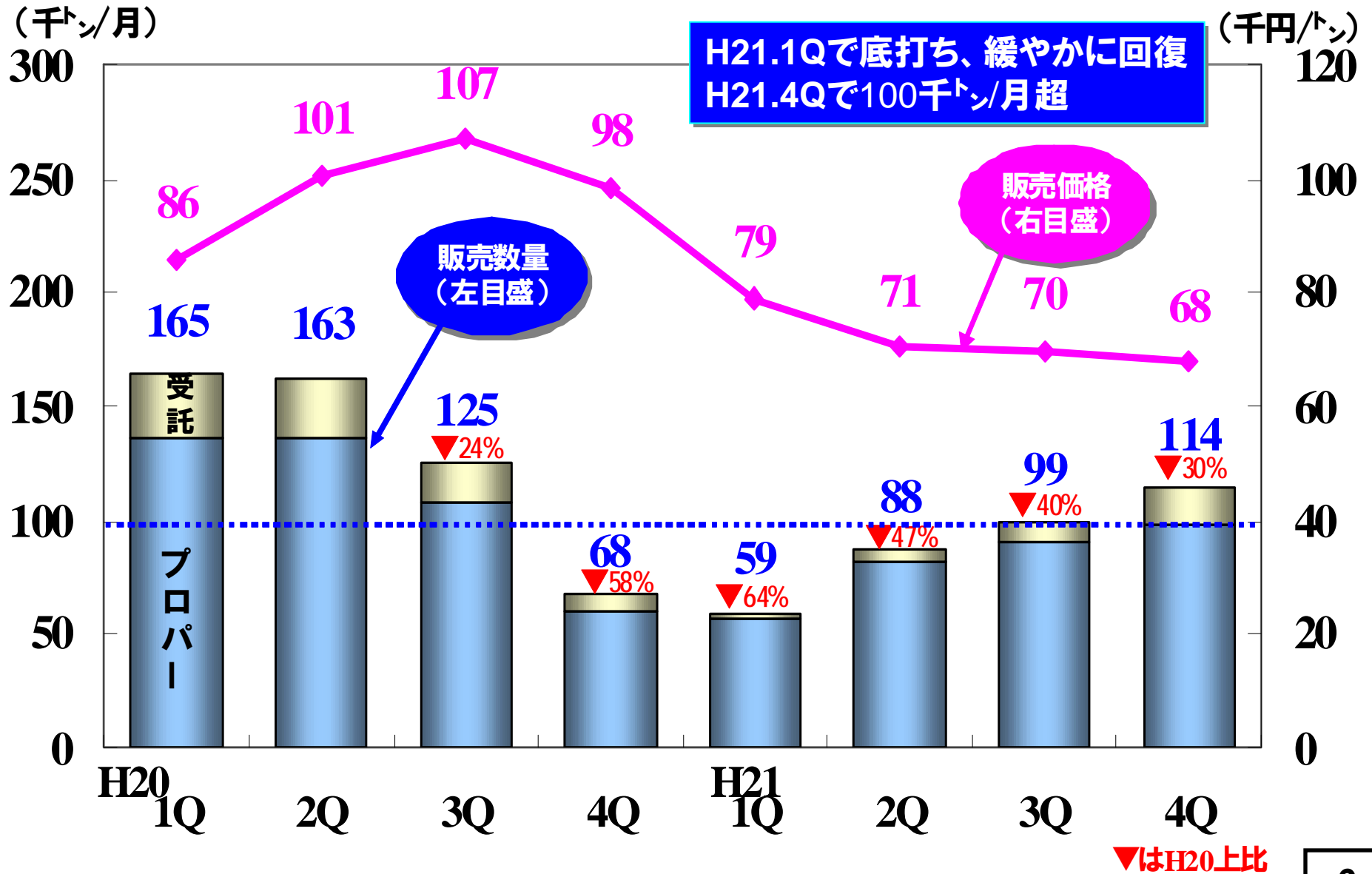
**鉄鋼事業 構造改革の進捗状況と  
平成22年度 業績見通しについて** P. 6～P.10

**今後の課題について** P.11～P.13

# 1. 連結売上高、経常利益の四半期推移



## 2. <単独>鋼材販売数量と販売価格の推移



# 3. H21年度 連結業績



(単位:億円)

	H20 年度 ①	H21		年度 ②	増減 年度 ②-①
		上期	下期		
売上高	2,598	715	848	1,563	△ 1,035 <△40%>
営業利益	95	△ 93	9	△ 85	△ 180
鉄鋼	81	△ 96	△ 3	△ 99	△ 180
エンジ	1	△ 1	3	2	1
不動産	4	2	1	3	△ 1
化学	10	3	7	10	0
経常利益	71	△ 101	1	△ 100	△ 171
特別損益他	△ 48	△ 88	△ 8	△ 96	△ 48
当期純利益	23	△ 189	△ 7	△ 197	△ 220

販価及び数量の減

H21下期は黒字

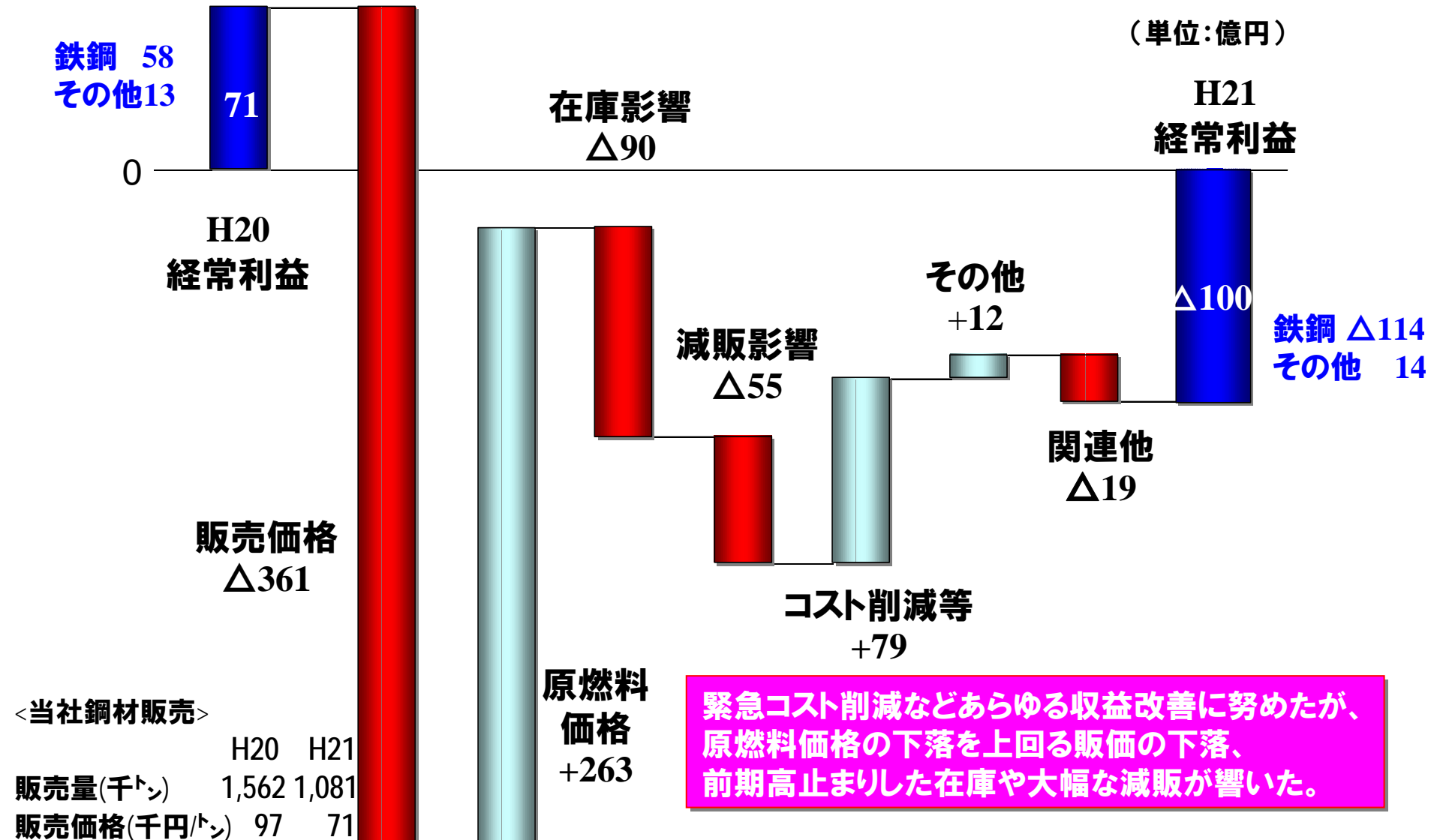
【特別損益】 △93  
 ①移転補償金 17  
 ②固定資産売却益 5  
 ③事業構造改善  
 引当金繰入額 △98  
 ④減損損失 △12他

・①②は主に当社・名古屋  
 ~道路建設に伴うもの  
 ・③は鉄鋼事業の構造改革  
 に伴うもの

【税金】【少数株主利益】



# 4. 連結経常利益《前期比》



# 5. 連結 貸借対照表

(億円)



科目	H22.3末		増減 要因
	実績	前期末 (3月)比	
<b>流動資産</b>	<b>853</b>	<b>△55</b>	手元資金を厚めに 主に、期末の売上(数量)増 在庫削減を推進
現預金	174	+80	
売掛債権	351	+33	
棚卸資産	306	△161	
その他	23	△6	
<b>固定資産</b>	<b>1,428</b>	<b>△60</b>	<有形・無形> 償却 △92 減損 △12 設備投資 +34 売却△6ほか 投資有価証券評価+17
有形・無形	1,337	△80	
投資 他	91	+20	
<b>資産合計</b>	<b>2,281</b>	<b>△115</b>	

科目	H22.3末		増減 要因
	実績	前期末 (3月)比	
<b>負債</b>	<b>1,621</b>	<b>+74</b>	鉄鋼事業 構造改革 前受金減 当期 純利益 △197 配当金 △4 ほか
買掛債務	263	+3	
借入金・社債	936	△2	
繰延税金負債	200	+2	
諸引当金	146	+94	
事業構造 改善引当金	98	+98	
その他	75	△23	
株主資本	291	△207	
評価・換算差額等	184	+21	
少数株主持分	185	△2	
<b>純資産 合計</b>	<b>660</b>	<b>△188</b>	
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,281</b>	<b>△115</b>	

# 6. 構造改革 設備休止の進捗状況について



## 内容

(1) 転炉工場(NSR)の休止

H22.5.6 実施

Nakayama Scrap melting Refining process: 棒線向け高炉代替鉄源

(2) コークス工場の休止

H22.5.19 (予定)

1ヶ月以上  
前倒し

(3) エネルギー供給体制の再構築

H22.5.19 (予定)

酸素発生装置はH22.10 (予定)

(4) 要員配置の効率化

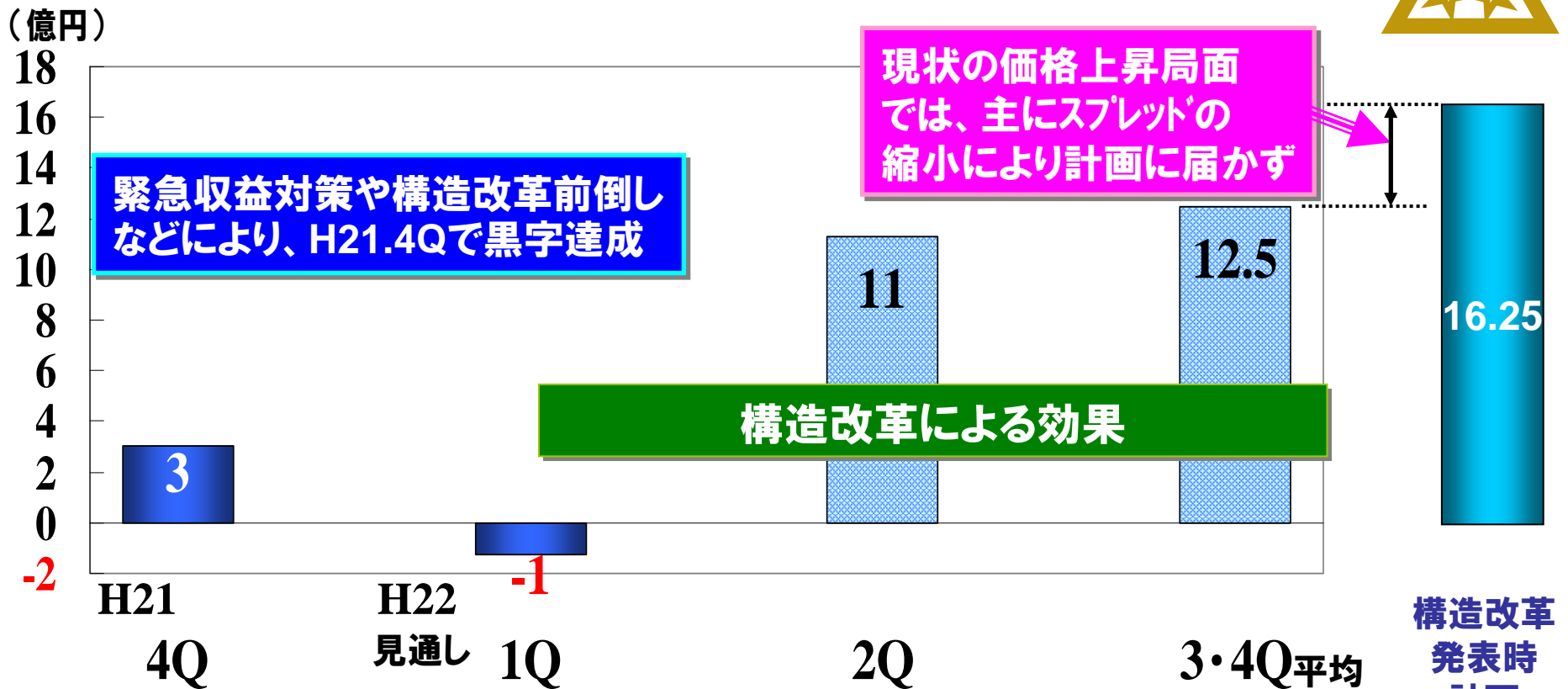
希望退職者募集  
H22.5.20～H22.5.28 (予定)

## 費用

設備・貯蔵品除却68億円、設備解体費など30億円 合計98億円  
H21の特別損失に事業構造改革引当金繰入、特別退職金はH22上期予定



# 7. 連結経常利益への構造改革効果の織込状況

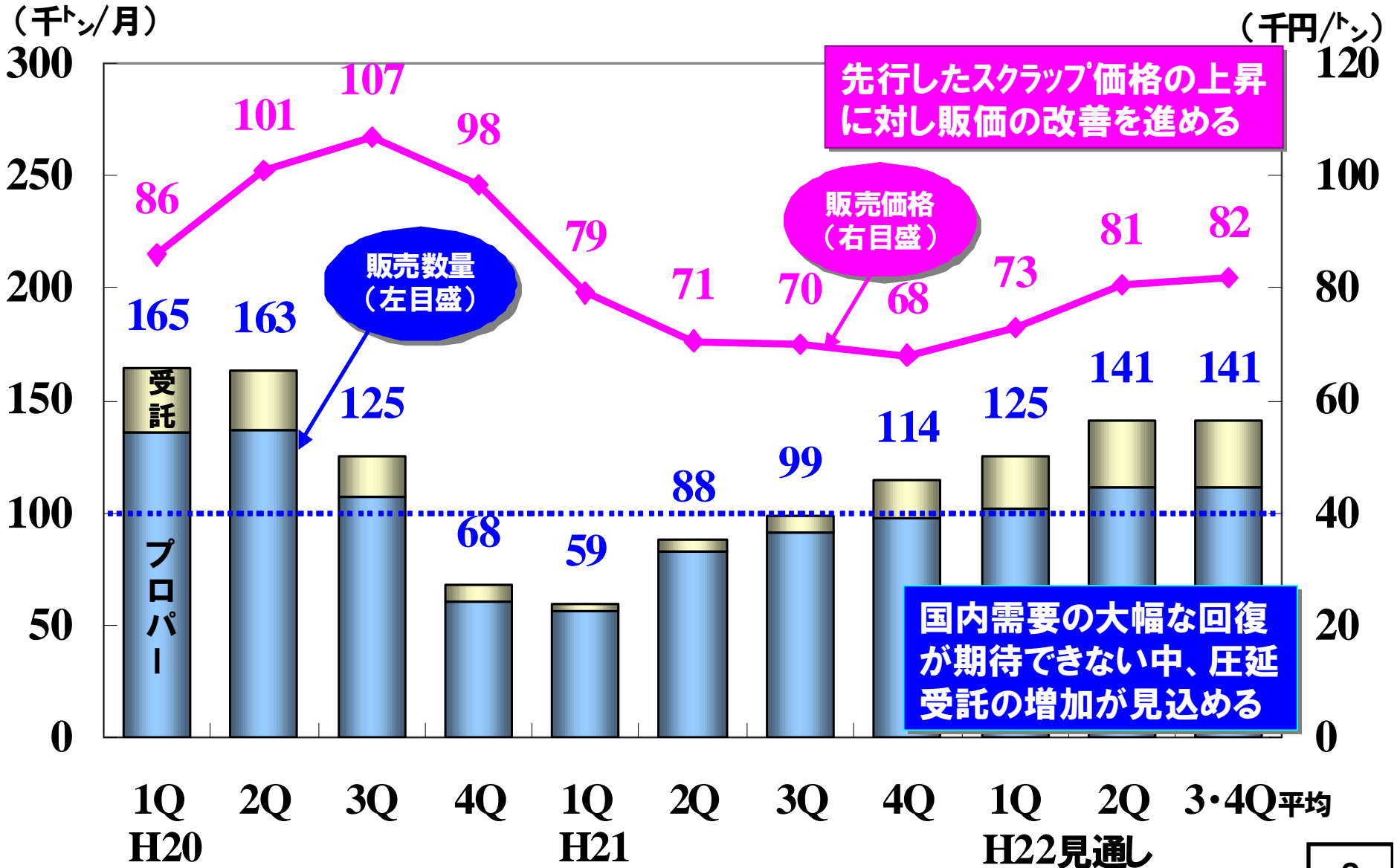


エンジンや化学事業(季節要因)などによる減

構造改革による固定費削減状況 (緊急収益対策を含む) <四半期ベース>		
H21.4Q迄の固定費削減	H22.上の固定費削減	合計
10	6	16

このうち、H22.上期末での構造改革による固定費削減の進捗率80%超

# 8. <単独>鋼材販売数量と販売価格の推移



# 9. 連結業績～H22年度見通し



(億円)

	H21	H22見通し				年度②	増減
	年度①	1Q	2Q	上期	下期		②-①
売上高	1,563	436	474	910	1,035	1,945	+382 <+24%>
営業利益	△ 85	5	15	20	40	60	+145
鉄鋼	△ 99	4	13	18	28	46	+144
エンジニア	2	△ 0	0	0	3	3	+1
不動産	3	1	1	1	1	2	△ 1
化学	10	0	1	1	8	9	△ 1
経常利益	△ 100	△ 1	11	10	25	35	+135
特別損益他	△ 96	△ 12	△ 3	△ 15	△ 15	△ 30	+66
当期純利益	△ 197	△ 14	8	△ 5	10	5	+202

うち、当社+456  
 鋼材販売数量増+427  
 (H21 1,081千トﾝ)  
 (H22 1,648千トﾝ)  
 鋼材販価上昇 +117  
 (H21平均 71千円/トﾝ)  
 (H22平均 80千円/トﾝ)  
 コークス売上減 △87

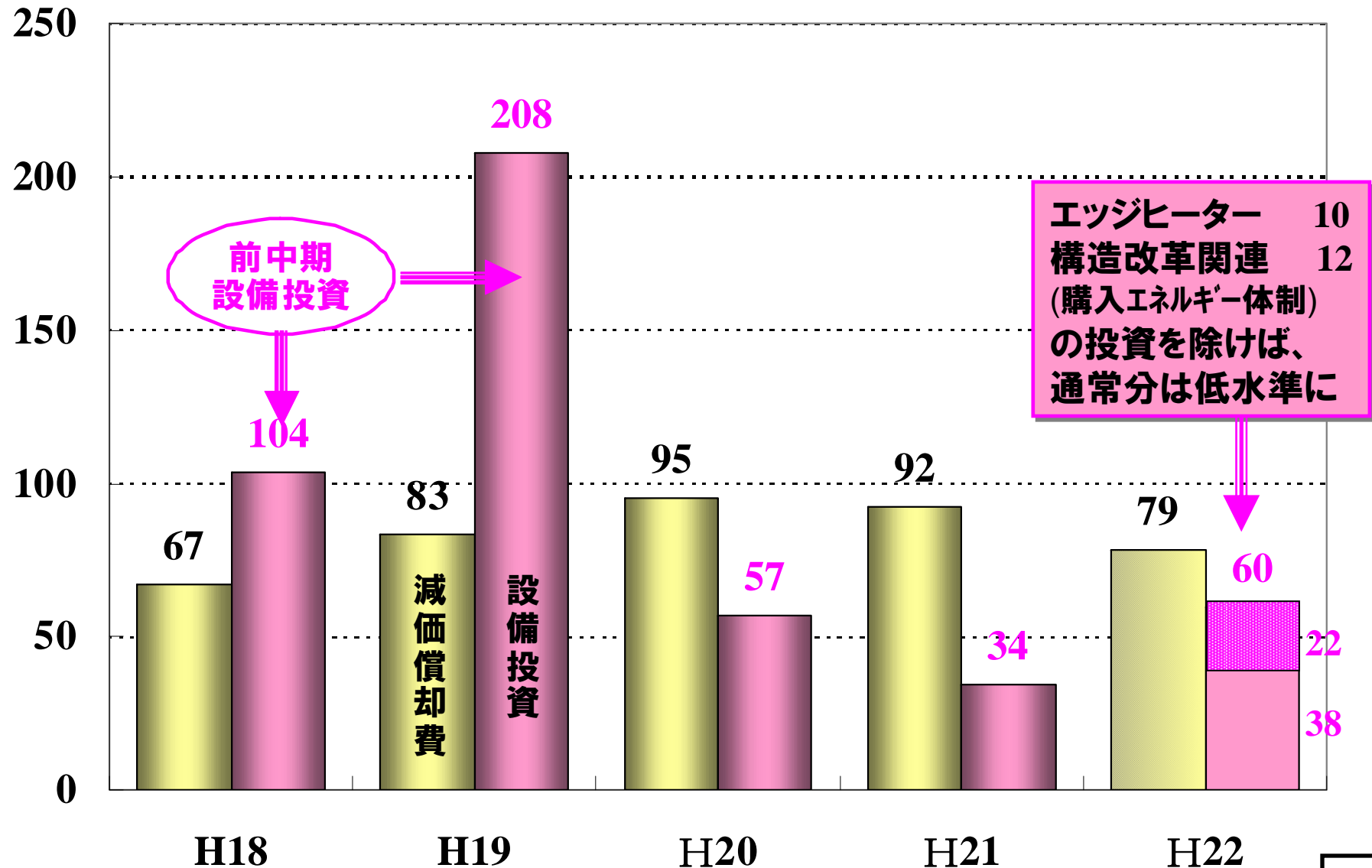
【特別損益】 H22 △13  
 ・特別退職金など  
 構造改革費用 △10  
 (H22 1Q)

【税金】  
 【少数株主利益】



# 10. 設備投資と減価償却費

(億円)



# 11. 今後の課題～当社アドバンテージ最大活用



## 0) 構造改革の完遂

### 1) 高品質材・難製造材への対応

エッジヒーター導入(コイル幅方向の均質化)

### 2) 短工期化

購入鋼片活用による短納期対応

需要家の在庫量低減への対応

### 3) グループインフラの活用

営業・生産拠点の活用

グループ連携による建材商品の拡販

# 11 - (1). エッジヒーター導入 高級鋼化(品質向上)、品種の拡大



## エッジヒーター導入

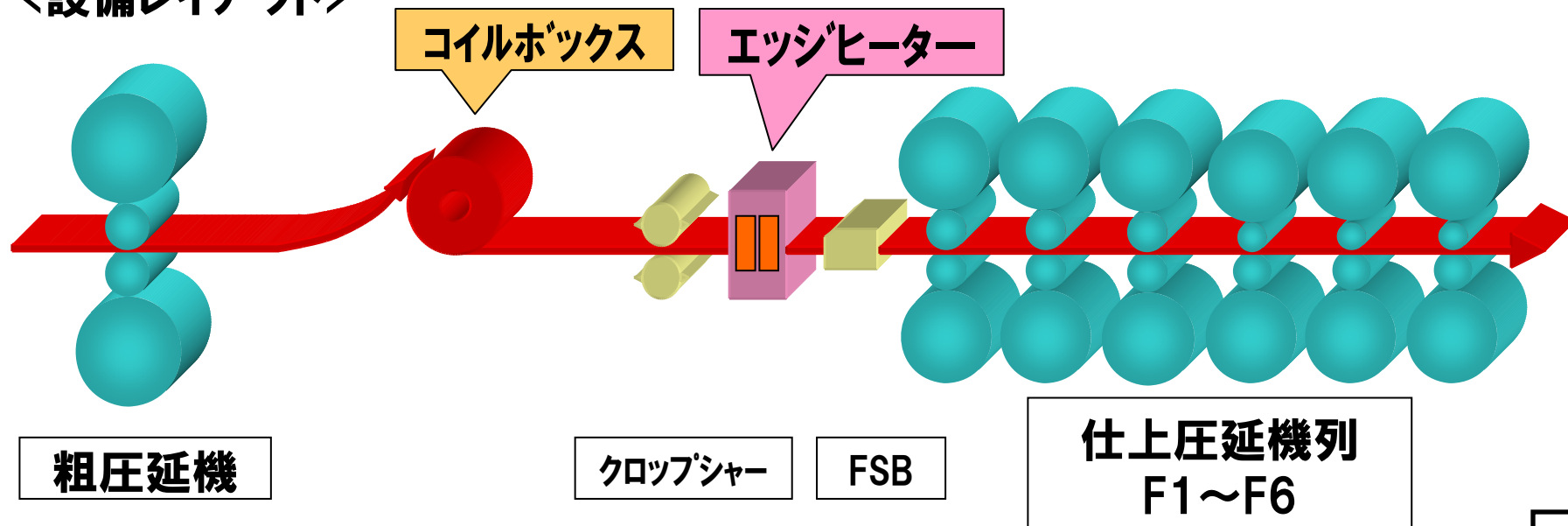
H22.5.6 設備完成

### <効果>

- 全長・全幅にわたって製品の品質レベル向上
- 厳格材への対応

熱延コイルの  
品質・商品力  
アップ

### <設備レイアウト>



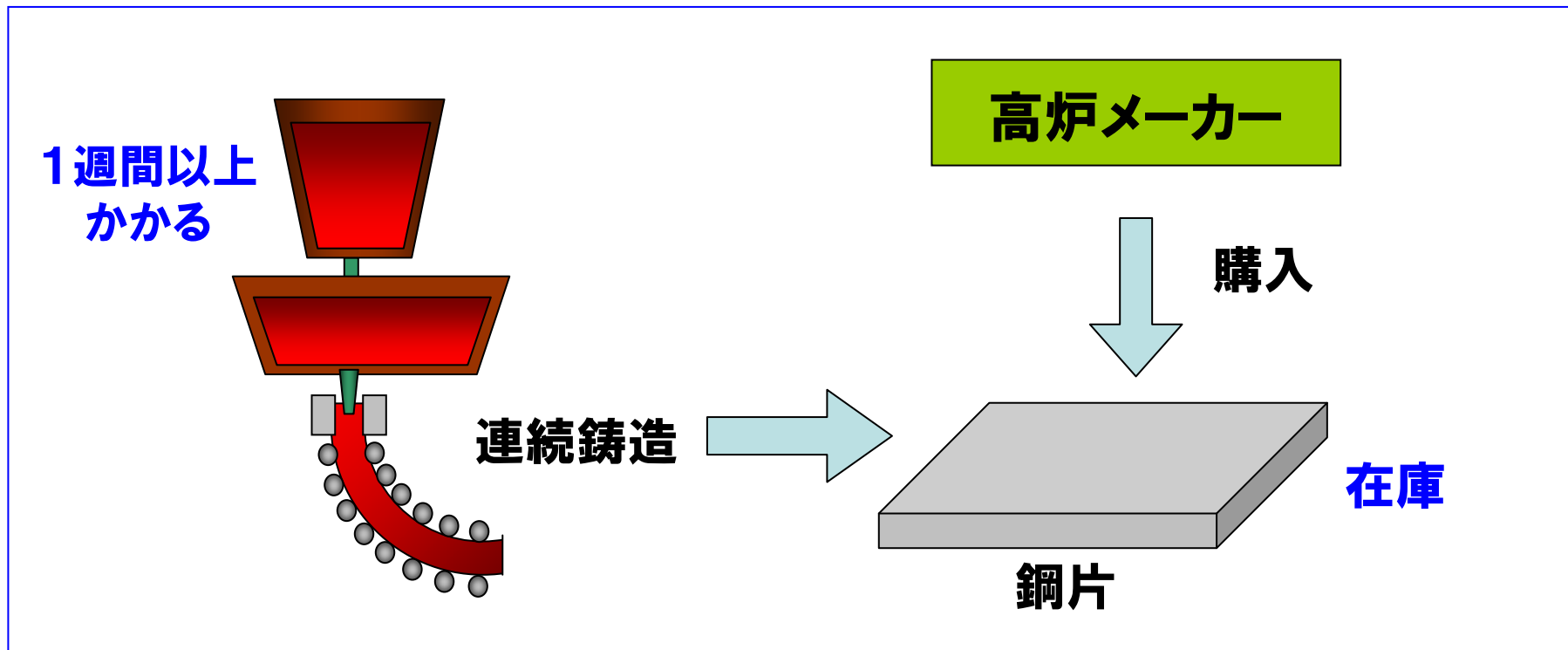
# 11-(2). 短工期化



購入鋼片(在庫)の活用  
による製造工期短縮



お客様の在庫削減に寄与





**平成22年3月期  
決算説明会**

**株式会社 中山製鋼所**  
**NAKAYAMA STEEL WORKS,LTD.**

**平成22年5月18日**